

# 住民のための の市政を！！

# ごうつ民報

日本共産党江津市委員会  
電話 52-2633  
FAX 52-7244  
NO. 2408  
2020年7月12日

## 江津市議会6月定例会 市長が1億8292万円の補正予算案を追加提案

6月26日に閉会した江津市議会6月定例会では、市長から15日に提案された補正予算案のほかに、新型コロナウイルス対策を含む追加の補正予算案が提案されました。

### 定例会最終日に 追加の補正予算案

6月定例会において、山下市長は6月15日に提案した総額1億5783万円の補正予算案第3号のほかに、定例会最終日となる6月26日に追加で補正予算案第4号を提案しました。

追加提案された補正予算案は総額1億8292万円。内訳は新型コロナウイルス対策として4480万円、6月13・14日の大雨被害の復旧事業費1億3811万円です。

### ひとり親世帯の給付金へ市独自に上乘せ

このうち、新型コロナウイルス対策として予算計上されているのは2つの事業です。

ひとつは、保育施設に対する補助金45万円です。

登園自粛により保護者から徴収できなくなった副食費を、保育施設に対して補填します。

もうひとつは、ひとり親世帯臨時特別給付金4435万円です。これは国が実施するひとり親世帯への給付金3124万円、諸経費込みに加え、市が独自に3万円を上乗せして給付するものとなっています。

### 予算委員会 審査できない

この第4号について、市長は新型コロナウイルス対策として、定例会開会前から追加提案をちらつかせていました。

これに対して、日本共産党江津市議団では、6月23日に行われる予算委員会ですっきりと審査できるタイミングでの提案を求めています。しかし、市長は26日まで提案

せず、予算案への質疑は回数制限のある本会議でしかできなくなりました。ひとり親世帯への給付金が盛り込まれた国の第2次補正予算の成立は6月12日です。タイミングとしてはギリギリではありますが、開会前から検討していたなら、きちんと予算委員会審査が可能な日程で提案すべきであり、市長の議会軽視の姿勢が透けて見えます。

### 今後の追加補正を 認めて賛成

26日の本会議での質疑で、党市議団は「新型コロナウイルスによる影響へ対応する予算案として、ひとり親世帯への給付金のみで十分なのか」「第4号補正予算案での新型コロナウイルス対策への財源のほとんどが国の支出で、市の持ち出しが1356万円に過ぎないのは妥当なのか」と質しました。市執行部は答弁で「これで終わりではなく、市内の状況について聴き



数年放置されているカーコーン

## ポロポロの県道 県に補修を求め

### 県道を市道に

6月定例会で市長が提案した議案には、県道を市道に変更する認定も含まれていました。対象は川平町から黒松町をつなぐ県道川平停車場線で、

取りを行い、今後も追加の補正予算を提案する。状況を見ながら対応する」と述べました。

県道の新たな整備にもなって、松川町内の一部と都治町・後地町・黒松町をつなぐ部分を市道市村上河戸線・都治黒松線」とします。

### 傷んだ箇所は 県で補修を

ただ、県道川平停車場線は傷みが激しく、しかも傷みによつて危険となつた箇所が何年も放置されています。そのため、党市議団では現地調査を行い、補修・修繕が必要ない箇所を確認。それをもとに森川よしひで市議が議案への質疑で、損傷箇所への対応を質しました。

この答弁を受け、党市議団では浜田県土整備事務所へ、現地の状況を踏まえた整備を要請。あわせて地域住民からの声も届けました。

### 道路整備に 住民の声反映させて

26日の本会議で市道認定の議案は、全員賛成で可決されました。議決後、党市議団は市の担当課に対して、今後の県と市の協議に地域住民の声を反映させることとあわせて、現地調査を行う際には住民も参加ができるよう取り計らうことを求めました。

悩み・困りごと  
ご相談ください

森川よしひで  
090-7379-1554  
多田伸治  
090-6014-2259

